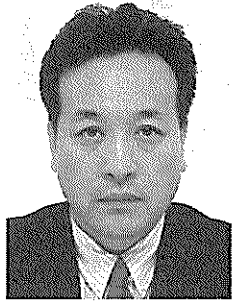




「一年を振り返って」



旭川市PTA連合会会長
黒川 吾 基

PTAの目的は、父母と先生の協力により学校、家庭、地域における子どもの成長と会員の資質向上及び親睦であります。しかしながら今日の課題として、我が国の今後を左右する非行の低年齢・凶悪化、いじめの多発、不登校など子どもたちをめぐむ問題が深刻化しています。これらを未然に防ぐためにも、まずは、親である自らが変わることだと思います。その為にも、PTA組織を活用する必要があります。ただ、その組織への魅力低下、また会員の負担など否定的な意見もよく耳にします。今後は、「過去への感謝」と「未来への責任」を常に意識し「変えるべきもの」「変えてはならないもの」をしっかりと見極め、今の取組み事態が、「古き良き伝統」なのか、「悪しき慣習」なのかをしっかりと検証することからやり直しすることが必要不可欠です。

旭川市PTA連合会（旭P連II）は、旭川市内の小・中学校各PTA（単位PTAII単P）の連合会ではありませんが、上部組織のようなものではなく、どちらかというと連絡協議会的な役割を果たす組織で有るべきと思っております。単P独自では行えないような事業の組立て、或いは他の単Pの事業等の紹介を行ったり、徴収会費や予算組立ての

情報交換等も関わりの中で行っています。先進的取組みを行っていても自分の単Pに取り入れられず、変更する手段の一助となると確信しております。

十八年度の目標の一つに「プロックの活性化」を打ち立ててまいりました。前年までは、市P連の事業等は三役主導でその殆んどを行って参りましたが、折角、各プロックからプロック長兼務の常任理事、男性理事、女性理事を輩出を戴きながら、関わりの薄い状態が長く続いてきた様に感じました。今年からは、副会長に専門部の担当の他、プロック担当もお願いし、二つのプロックのクラブにより専門部を構成戴き、どちらかのプロック長が専門部の部長、もう一方のプロック長に副部長になつて戴くことを基本に組織しました。そして、同じプロックからの輩出者と同じ専門部に配属し横の繋がりを意識してみました。同じプロックという「縁」での取組みがプロックの関わりを拡大し、やがては市P連という組織を身近に感じ、その関わりが常に単Pのあり方を意識されるのではないのでしょうか。

さて、ちょうど一年前の今日、平成十八年度の旭川市PTA連合会定期総会に於いて役員選考委員会からの推挙により、なぜか自分が旭川市PTA連合会会長に就任することとなつてしまいました。自分より経験も実績もある方がおられたので「白羽の矢」が自分に向いているとは思ってはおらず、「まさか自分が」というのが正直な気持ちでした。平

●事務局
旭川市6条5丁目
日章小学校3階
TEL 2312916
FAX 2312917
●発行責任者 黒川 吾基

成十六年度常任理事、十七年度副会長をさせて頂いたとはいえ、僅かな経験しか持ち併せていない自分。「どれだけのことがどこまでできるのか」不安を抱えてのスタートでありました。

所詮、自分一人だけが気張つても「組織の活性化」「組織の変革」などが簡単に出来るはずもなく、まずは協同性豊かなスタッフを獲得することが最大のテーマだと考えてみました。お陰様で本当に取巻く方々には恵まれ、その方々のご支援・ご協力により、充分な舵取りであったかどうかは自身判断はつきませんが組織としての初期の目的は充分果たせたと自負しております。

今後は親しみ易い市P連を目指す、「次代を担う子どもたち」の為に、共に更なる行動をして戴くことをお願いし「一年を振り返って」の挨拶とさせていただきます。

成十六年度常任理事、十七年度副会長をさせて頂いたとはいえ、僅かな経験しか持ち併せていない自分。「どれだけのことがどこまでできるのか」不安を抱えてのスタートでありました。

所詮、自分一人だけが気張つても「組織の活性化」「組織の変革」などが簡単に出来るはずもなく、まずは協同性豊かなスタッフを獲得することが最大のテーマだと考えてみました。お陰様で本当に取巻く方々には恵まれ、その方々のご支援・ご協力により、充分な舵取りであったかどうかは自身判断はつきませんが組織としての初期の目的は充分果たせたと自負しております。

今後は親しみ易い市P連を目指す、「次代を担う子どもたち」の為に、共に更なる行動をして戴くことをお願いし「一年を振り返って」の挨拶とさせていただきます。



「子供模擬裁判」を終えて

旭川市PTA連合会 副会長 薄井タカ子

もうすぐ始まる「裁判員制度」に関連して、裁判について考えてみませんか？という主旨で、PTA連合会では子どもたちの「模擬裁判」を企画し、子どもたちなりに犯罪や人を裁く事、あるいは自分の考えを主張

することを育んでもらうよう、裁判官・検察官や弁護士役を演じ、最後に皆で評決してもらいます。子どもたちの熱演を通して、保護者の皆様にも一緒に裁判について考えていただきたいとの思いで「子ども模擬裁判」を実施しました。

当日は、二十七人の出演者、保護者、小中学生百人の傍聴人が真剣な態度で参加をしていました。この事業に関わった小・中学生はもちろん、父母の皆さんも有意義な経験をされたことと思っております。

積極的に参加をしていただいた皆様にお礼と感謝を申し上げます。



「子ども模擬裁判の感想」

東町小五年 中島 和希さん

私は子ども模擬裁判をやつてとても良い経験になったと思います。理由は、こんなことはめつたに体験できないし、ふだんはあまり知らない裁判の流れを知ることができたからです。

私は裁判官の役で、セリフは少なめでしたが、リハーサルの時も本番の時もきちんと覚えてよかったです。判決を考えると、皆と一緒に考えて、「店員の考えはあまいではない」「友人の意見は、はっきりしていないので、ゲームを盗んだとはかぎらない」、他、多数の意見が出て、皆の考えはこんな考えなんだなと思ひ、勉強になりました。

結局「有罪」懲役一年六ヵ月になりました。今回のことはとてもよい経験になったし、勉強になりました。

これからは、裁判のことをもっと考えてみようと思います。

私は裁判官の役で、セリフは少なめでしたが、リハーサルの時も本番の時もきちんと覚えてよかったです。判決を考えると、皆と一緒に考えて、「店員の考えはあまいではない」「友人の意見は、はっきりしていないので、ゲームを盗んだとはかぎらない」、他、多数の意見が出て、皆の考えはこんな考えなんだなと思ひ、勉強になりました。

結局「有罪」懲役一年六ヵ月になりました。今回のことはとてもよい経験になったし、勉強になりました。

これからは、裁判のことをもっと考えてみようと思います。

20th Anniversary 国内交流

旭川 都城市

平成十八年度 旭川市・都城市 児童、生徒国内交流を担って

事業部担当副会長 長谷川 力也

本年第二十回目を迎えた国内交流事業を事業部の一大事業として担当させていただきました事にまず感謝申し上げます。

「北の旭川市と南の都城市」同じ日本でありながら風土や気候、食べ物や方言も違う、そんな生活環境が違う子供たちが一年間に互いの土地で共に生活し共に学ぶことよって友情と絆を結ぶ素晴らしい事業に関わることができた事で子供の素晴らしい感受性や自立心、さらに成長力さえ感じるといふ自分にとって忘れかけていた人間の素直さを勉強させていただきました。

又、経済環境やスタッフが変わってきたこの二十年間、継続ということに幾つもの試練や問題点があったはずであり、それを乗り越えこの価値観を継承されてきた先人はもとより諸先輩方に敬意を表するものであります。

更に本年は、互いの土地で二十周年祝賀会を開催し、お互いに二十年の歴史の重さやこの事業のすばらしさを確かめ合つた年でもありました。

確かに参加者やスタッフにかかる負担が大きき問題点として振り返りかつた年でもあり、双方のスタッフでの協議もなされました。

それに対しての結論は負担率の高さなつて引き継がれることとなりました。

すばらしい事業がゆえに参加者が減少している事実には残念ですが、今後公・民の補助金やあらゆる制度を研究し、それを補う努力でカバーできると確信しております。（次年度に託します）

本当に大変な事業ではありますが「大変」ということは、参加した子供たちもかわつた我々も大きく変わるといふことであり、今後なくしてはならない大切な意味や効果があるということに気がかけていただきました。

是非、一人でも多くの子供たちやPTA関係者に参加していただきすばらしい感動と成長を味わっていただきたいと思ひます。

最後にお世話になった都城市の皆様、協力いただいた旭川市PTA連合会OBの皆様、参加していただいた子供たちとその保護者の皆様、共に担っていただいたスタッフの皆様、感謝・感謝・感謝を申し上げます。

旭川市PTA連合会における ブロック活動について

「旭川PTA連合会」の組織は、地域ごとに八つのブロックに分かれて活動がなされています。

今回は、それぞれのブロックにおいてどのような活動がなされているか御紹介させていただきます。

東部ブロック

ブロック長 鎌倉博幸(第五小高小PTA会長)

- 愛宕小学校 愛宕東小学校
- 旭川小学校 旭川第一小学校
- 旭川第五小高小 旭川第二小学校
- 旭川中学校

「子どもがくれた宝物」を今、大人たちはどう言うテーマで市P連東部ブロックにおいて「教育懇談会」を開催しました。

昨今のいじめ問題や非行の低年齢化、凶悪化など子供に関連した事件が毎日のように報道されています。

このような時代にあっても、子ども達の中の大人としての意識はどうなっているのでしょうか。

「子供の人格は自然にできるのではなく、だれかとの良い原体験から作られる」と言われております。

子供に接する我々の心は、どうあつたら子供に良い影響を与えることができるのでしょうか。そういうことを親や先生が見つけ直す機会として、十月十日(旭川市民館)において、深川市アトホーム東旭川公民館長 渡辺真之様を講師にお迎えし「子どもがくれた宝物」と題して教育懇談会を実施しました。

渡辺様は元小学校教師で、現在右記館長を務めながら自ら設立した「子どもと文化を創る会」を通して子供と一緒に様々な活動を行うとともに、各地で子育て講演をしています。

親や先生は建前で子育て、教育を考えている。問題が起きると大人の立場で処理しようとする。

もっと本音で子供と向き合うべきである。

教育の中で子供が元気に育つには、先ず私達大人が元気に子供達に良い影響を与えなければならぬとの話の後、誰しも持っているストレスの上手な付き合い方、対処方略等々、又サポートの有無等がストレスの大小に関係し、ひいては健康に影響する等、今迄漠然と捉えていたものを体系的にわかりやすく説明していただきました。人間



関係の築き方においては、関係づくりのヒントの技法を全員で体験しました。そこには普段何気なく子供達に言っている会話が子供達から見ると、何も言わせないような環境を大人が作り出している事がよくわかりました。

参加者全員が例題の会話を体験しましたが、頭ではわかっていても実践しにくいと反省し、会話の受け答え一つの難しさを実感した講演でした。

中央ブロック

ブロック長 川里信治(光陽中PTA会長)

- 高雲小学校 新町小学校 日置小学校
- 知新小学校 朝日小学校 東町小学校
- 豊岡小学校 聖園中学校 常盤中学校
- 北部中学校 光陽中学校

中央ブロック教育講演会

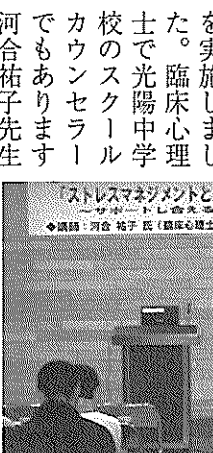
日時▼平成十八年十一月二十八日

場所▼光陽中学校2階多目的室 十六時～

中央ブロックは十一月二十八日に約百名の参加を頂き教育講演会を実施しました。

臨床心理士で光陽中学校のスクールカウンセラーでもあります河合祐子先生に「ストレスマネジメントと人間関係の築き方」をテーマに講演をしていただきました。

子供を元気にさせるには、先ず私達大人が元気に子供達に良い影響を与えなければならぬとの話の後、誰しも持っているストレスの上手な付き合い方、対処方略等々、又サポートの有無等がストレスの大小に関係し、ひいては健康に影響する等、今迄漠然と捉えていたものを体系的にわかりやすく説明していただきました。人間



関係の築き方においては、関係づくりのヒントの技法を全員で体験しました。そこには普段何気なく子供達に言っている会話が子供達から見ると、何も言わせないような環境を大人が作り出している事がよくわかりました。

参加者全員が例題の会話を体験しましたが、頭ではわかっていても実践しにくいと反省し、会話の受け答え一つの難しさを実感した講演でした。

北部ブロック

ブロック長 安井好志(広陵中PTA会長)

- 近文第一小学校 近文第二小学校
- 北嶺小学校 香光小学校 末広小学校
- 末広北小学校 凌雲小学校
- 東風橋中学校 広陵中学校
- 六合中学校 啓北中学校

北部ブロックでは去る十一月一日に「子どもの心をまもる」を演題に坂本勤先生をおよびして広陵中学校を会場に教育講演会を開催し多数の参加をいただきました。

坂本先生は中学校の国語教諭時代、学年便りに登場させたキャラクターを主人公にして学校生活を描いた物語「タマゴマンは中学生」の著書で知られ、子どもたちの心情や親の接し方、あり方などを講演していただきました。

子育ては親になる四つを話して頂きました。子どもは親の背を見て育つといいますが、一つ目はお料理の上手な親の背中が素敵です。親が食事を作るときにだけ、子どもがの領域に介入して勉強しなさいといったらいいですね。二つ目は子どもの寝顔が見ることのできる親が素敵です。子どもと口論してひっぱたく瞬間がやってくるかもしれない。そんな夜は無心で眠る様子を見てください。冷静さと優しさを取り戻し明日語りかける言葉を見つくるのです。三つ目は自分の中学時代を思い返す親の背中が素敵です。子どもの人生を見つめるとき自分のつまづきを思い返すことのできる親です。四つ目は注意をするとき、お母さんはとかお父さんはと頭をつけて話のできる親の背中が素敵です。お母さんはね、で話すと終わりは「お母さんね、で話すと断ると心発の心を育てます。

「思うよ」には子どもにも選択する「余裕」と「選ぶ力」を養うことができます。

以上のような御話でしたがその中で私が特に関心したのは犯罪に走る「人の心」の抑制力は親の愛情が犯罪をふみとどめさせるおおきな要因であるという話です。大変面白い講演でした。

神楽ブロック

ブロック長 大谷地裕明(西御料地小PTA会長)

- 神楽小学校 神楽岡小学校
- 緑新小学校 西御料地小学校
- 緑が丘小学校 西神楽小学校
- 聖和小学校 千代ヶ岡小学校
- 神楽中学校 緑が丘中学校
- 西神楽中学校

神楽ブロック教育講演会

十月十六日(月)神楽ブロックの教育講演会が西御料地小学校体育館にて、参加者百七十名の元行われました。

演題は「身長」と「体重」は子どもの健康のバロメーター。講師の伊藤善也先生は旭川医科大学医学部を卒業後、平成十六年医学部小児科学講座助教授を経て、現在日本赤十字北海道看護大学の教授をされています。

最近では、日常の食生活、生活習慣の変遷により、小児であっても肥満などメタボリックシンドロームの予備軍といわれている子どももいます。講演の中では横断的標準身長・体重曲線を中心に子どもの成長の中でこの二つの変化を見ただけで疾病の早期発見につながるなど、私達にも日常でできる子どもの健康管理について分かりやすく説明していただきました。

講演のあと会場より多くの質問が寄せられ、参加者の関心の高さが伺われました。「身長」と「体重」曲線はぜひ学校保健にも取り入れてもらいたいものです。

神居ブロック

ブロック長 清水亮治(神居中PTA会長)

- 神居小学校 台場小学校 神居小学校
- 富沢小学校 神居東小学校
- 神居中学校 神居東中学校

神居ブロック教育講演会

十月二十日(金)、花月会館を会場に市P連神居ブロック研修会がブロック内の十校より八十五名の参加があり盛会の中を終えることができました。今年度は「教育講演会」による研修を計画しました。旭川工業高等専門学校古崎陸先生をお招きし、一年二ヵ月に及ぶ南極探検隊として活動した足跡と体験をスライドを交えながら講演をいただきました。

昭和基地やドーム基地での「氷床掘削」は地球上最古と思われる氷の分析により、現在の地球環境の破壊や汚染と言った変化を説明いただき、これからの地球はいつかどうなるのだから不安を抱きました。また、この基地間の移動についても数ヵ月をかけて途中まで燃料を運び、一端戻って再び移動となるなど南極大陸での作業の過酷さと困難さを教えていただきました。

「地(氷)中三千二十八・五二m、百年前の氷」、「空からの多数の隕石」、「氷点下七十九・七度の世界」、「オーロラ」などのお話は夢とロマンの溢れる世界を垣間見た様な素晴らしい内容でした。余談になりますが前置きして一年間の一人当たりの食料は一トンの相当し、日々の暮らしの中で楽しみ一つでもあったら幸いです。

参加者からは、「大変そうだけどこんな研究をしていたのですね」、「我が子もこんな研究に参加できたらいいい」、「興味をもって拝聴させていただきました」などの感想をいただきました。

南部ブロック

ブロック長 小坂俊文(旭三小PTA会長)

- 啓明小学校 千代田小学校
- 共栄小学校 東栄小学校
- 旭川第二小学校 旭川第三小学校
- 東光小学校 東陽中学校 東陽中学校
- 東光中学校 旭川第三中学校

南部ブロック教育講演会

平成十八年十一月十日(金)旭川公民館大講堂において「南ブロック研修会教育講演会」を行いました。

講師には、全国的な人気を誇る、旭山動物園副園長 坂東 元氏をお招きすることができました。

坂東氏は全国を講演会や研修会で駆け回っておられるためこの日に決定いたしました。

ところが、当日は旭川市教育委員会と旭川市PTA連合会との「教育懇談会」と日程が重なり、参加人数が減ってしまうのではないかと心配いたしました。しかし、南ブロックの皆様のご協力により百三十名の方が集ってくださりました。

演題は、「命をおして伝えるもの」で、「動物たちが本当に生き生きと過ごせる空間で生きてほしい。」「どうしたら人が動物園でゆったりと満足してもらえらるか?」という両方の視点を大切にしていることを強く訴えておられました。

又、動物園が今日の人気を得るまでの経緯や、動物も人も同じ「命をもつもの」として命の尊さやかなさを教えられたいことも多いことなどをお話しされました。そこから、相手の心を理解し大切にすることを再認識することについてもお話しされました。

参加された皆さんは、興味深い写真の数々とそれにまつわるエピソードをユーモアを交えてお話される坂東氏に時間のたつのも忘れ耳を傾けておられました。

西部ブロック

ブロック長 山内広也(香光台小PTA会長)

- 高台小学校 香光小学校 大町小学校
- 北光小学校 大町小学校 近文小学校
- 旭川小学校 江別小学校
- 附属旭川小学校 香光台中学校
- 北星中学校 北陽中学校
- 附属旭川中学校 旭川直中学校
- 旭川直中学校

西部ブロック教育講演会

日時▼平成十八年十月九日(月)

午後二時～午後三時四十五分

開場▼旭川市立春光台中学校 体育館

講師▼桂 才賀氏(落語家七代目)

演題▼「子どもを叱れない大人たちへ」

新永ブロック

ブロック長 井上 功家(山南中PTA会長)

- 東五条小学校 新富小学校
- 正和小学校 永山小学校
- 永山南小学校 永山西小学校
- 永山東小学校 明星中学校
- 永山中学校 永山南中学校

新永ブロック役員研修交流会

新永地区各学校のPTA役員らの学習と各PTA相互の交流や親睦を深め、今後一層のPTA活動の活性化を図る。

日時▼平成十八年十一月十一日(出)

十七時～二十時十分

開場▼花月会館 三条八丁目

講師▼山田 迦心

演題▼子育てや家庭教育などについて

編集後記

一年間の活動を通じ、子を持つ親として、また社会の中で生きていくひとりの大人として、どのような枠組みにおいても責任を放棄することなく、恥ずかしくない行動をすべきで、その積み重ねが、次代を担う子どもを育てるうえで必要なのではないかと感じました。

最後に、編集・発行にあたり、ご協力いただきました、関係各方面の方々には総務部一同心からのお礼を申し上げます。

